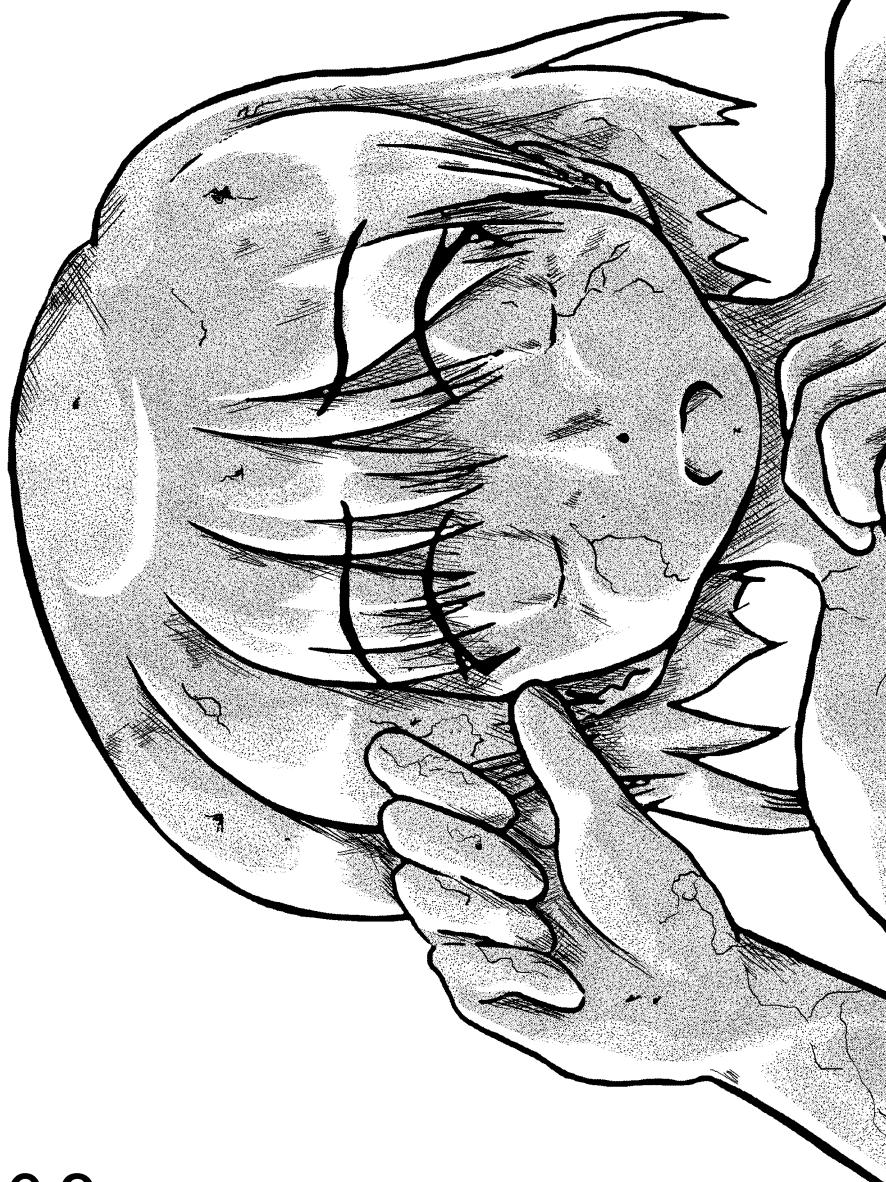


石  
に  
な  
る  
娘



Vol.0.9



# 石になる娘

## Vol.0.9

流穂 忍  
Shinobu Ruho



俺の左眼

メデューサの眼

このお話を

人を石に変えてしまふ  
能力を持った少年



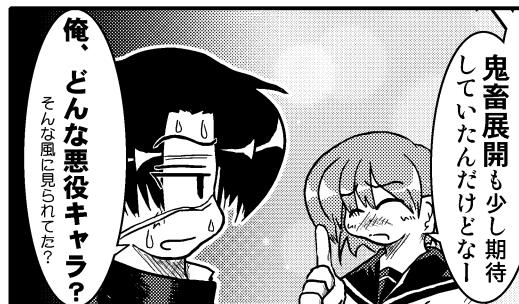
自分の望む  
望まないに問わざらず  
見た者を石へと  
変えてしまう

石像になることを望む少女

石像になりたかつたのツ



ある意味お似合いといえる



そんな二人のお話です

※詳しくは [http://mumeigei.dojin.com/medusa/medusa\\_0\\_1.pdf](http://mumeigei.dojin.com/medusa/medusa_0_1.pdf) でどうぞ





石にじたつされたりばかじょなく  
高校生の男女らしく  
一緒に勉強をしたりもします



石にされている間は  
子供できないから





いしべきんきち  
石部金吉

生真面目で男女の機微にうとい人  
石と金、堅いものを並べた擬人名

石化フェチ、といわれても、わからない人にはまったく理解不能なフェチですの  
で、補足的な説明を。蛇足的な釈明、という気もしますが(笑)。

説明になってない、作品に対する単なる自己ツッコミのページですので、流して  
読んでいただくくらいでちょうどいいかと。

このページの存在意義がなくなるようなことを書いていいのか不安になりつつ。



### 墓石になりたいの

おそらくは本書一番の問題発言。

「一緒に墓に入りたい」はプロポーズなんでしょうね、「墓石になりたい」はなんなんでしょうね?

「●●家の墓」とかどこに書くんでしょうね?背中がよさうだけど、墓参りに来た人に背中を向けてるというはどうかと。あ、背中みたいな胸だったら問題ないのか? (爆)。

むしろ問題は「●●家の墓」と膨った場合、もし元に戻った場合、膨った場所がどうなってるか?というコトですが……気にしないのが吉かも。

ちなみに。近年では墓石もいろいろバリエーション豊富なようで、女性の体の形をした墓石、というのは実際に存在するそうです。

### 石女・石部金吉

作中にあるとおりの意味です。

石女は子どもができない夫婦の女性に対する言葉です。当然男性側に原因がある場合もあったわけですが、女性の方に一方的に原因がある、といわんばかりの言葉であります。滅多に使わないよう。

石化フェチの女性の方だったら、別の意味で取ってくれるかもしれません、そんな女性は滅多にいませんので、滅多に使ってはいけないのには変わりありません。

石部金吉は、石と金、堅いものを重ねて人の名前にして「お堅い人」という意味になったそうで。この作中の男はけつてお堅いわけではないので、使い方間違ってる気もしないでもないですが、気ニシナイ



### 抱き石

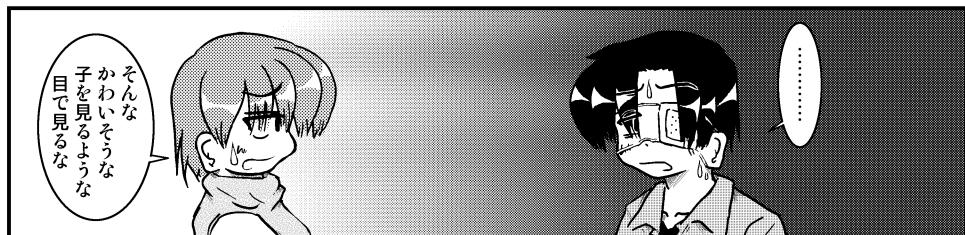
「石抱き」と「算盤責め」とも言われる拷問(洗濯板のようなものの上に正座させられ足の上に石を積み上げられるヤツ)になりますので注意。抱き石も別の意味があるようですが、ここでは無視します。

石化した女の子を抱き枕代わりに使うとなると、重さがどうなのよ?ということが気になります。人の体の形をした石像って一体どれくらいの重さなんだろう?ベッドだったら一撃で壊れそうな気もします(汗)。

実際石化した場合、どうなんでしょうね?隙間なくびっちり詰まった石になるのか、内臓は内臓の形の石になつて多少隙間があつたりするのか?

……ファンタジーはファンタジーのまま終わらせるのが吉な気がするので野暮なツッコミはやめましょうか。





しばらくお待ちください

石化に関するコト以外は  
いいヤツなんだけどなー

やつと静かに  
なつた……

石化中につき

自分の能力だから  
知らないんだよ  
自分は石になれないし

自分の能力なのに  
知らないの?

石化中つて意識ないものなの?

ところで……

他の人の感じを  
他人にわかりやすく  
説明すると……

石になる側の  
感体感だとゆづくりに  
感じるんだけど……

だんだん石に?  
ほとんど一瞬で  
石に変わるような  
感じだけど……

石にされるのには  
ずっと憧れてたし  
だんだんと体が石に  
変わっていく……

ああ、  
私、石に……  
あれ? 待て  
なんで意識ないのに  
石になるの好きなんだ?

死んだこともないから  
その例えもわからねえよ

人が死の直前に  
見るとが言うアレ

走馬灯?



また補足的な説明といいつつ蛇足的な説明を。

今回は「石化中の意識について」ということなので、ちょっと内容としてどうかなー?とも思うわけですが。

このフェチの世界、下手なこと書くと叩かれそうなのですが。あくまで作者個人的見解、ということで以下はよろしくお願ひします。



### 意識がないのがつまんない

石化中の意識の有無というのは、石化フェチにとって非常に重要な命題であります。石になる側、とりわけ本作の少女のように「石になりたい」という側からの場合はどうなんだろう?と考えてしまうわけです。

「せっかく石になってるんだから、石になってる最中の感覚も味わいたい」と思うのか「石になってる間は石として、意識がないのが正しい石の姿」と思うのか、どうなんでしょうね?

本作の場合は「時間が来たら自動で石化解除」という設定なので意識有りのもありなんでしょうが、何年も何十年も動けず外部・他者とコミュニケーションがとれずに意識だけはある、は地獄でしょうね。

ソレがいい!という向きもありますが(汗)



### 体感時間の違い

人間、危機的な状況になると時間の経過の感覚が違うものです。

「石になるのが好き」というヤツが石になっていくことに危機感を感じるのかという話は気にしない(笑)。

「走馬灯」という単語を出しましたが、肉体が石に変わる→生あるものが生がないものへと変わる、という意味でいくと、石化って死に等しいとも考えられますし、ならば走馬灯が見えても不思議はない……のかな?

そういうえば「臨死体験で気持ちいいと感じるのは脳が壊れる際にドーパミンが大量に出るから」なんて説を聞いたことがあります(正しかどうかは調べてないので不明)。脳が石化する際にもドーパミンが出るとすると……などと考えてしまうわけですが。さて?

本作は話をソッチにもっていくつもりはなく、あくまでノーテンキにいくです。



### 現実的に考えて

本作では一番の禁句。

現実的に考えたら「人間が一瞬で石に変わる」なんて、そんなオカルトありません(えー)。

この件をサイトの方に書いたところ「珪素基のコンピュータ化して……」というコメントの書き込みがありました。なるほどと思いました。そういうえばSFの世界では珪素生物なんてのがありますな。

「意識のハードプロブレムとかからめてSFを」……なんてコメントもありましたが。誰か書いてくれないかな?

本作はソッチにもっていくつもりはないです。あくまでノーテンキに(略)

# 美術館は駄目だと思い知りました

石化フェチの人間を  
デレトに誘う場所として



この度は、本書「石になる娘」を手にとっていただき、また最後まで読んでいただきまして  
まことにありがとうございます。わずかながらでも楽しんでいただければ幸いです。

本書は「女の子が石に変わっていく」という様が好き、という特殊なフェチ向けに描き始め  
たのですが……どこを向いているのかわからぬ作品へとなってしまいました（汗）

まーこれを手にとっていただいた、特にコツチの属性がない方がこれを機に、「こういうフェ  
チもあるんだ」という認識を持っていただければそれだけで充分です。

属性に目覚めていただければなおよしですが、あまりに特殊なシミすぎるのそこまでは言いません(^^;

本書はWebサイト「無名芸」で掲載していたものを中心にまとめたものです（……というかほ  
ぼWebサイト掲載したもので構成しています）。もし興味を持っていただけましたら、サイトの  
方も見ていただければ幸いです。

最後に。

この本を手にとってくださった貴方にありつた  
けの感謝の思いを。

目もとめなかつた連中へは、石化の呪いを（おい

2009.12.31  
流穂思ひでした。

## 石になる娘 vol.0.9

■発行日 2009年12月31日 ■  
■印刷 家庭用レーザープリンタ(^^; ■  
■発行者 流穂忍 ■  
■発行 □

無名芸

■連絡先 □

Webサイト <http://tsurime.maid.ne.jp/>  
E-Mail tsurime@kubiwa.club.ne.jp



東方先生、Presents